

### 3. アンダーソン：プリंकプランクプルンク

アンダーソンによる1951年の作品。弦楽器のピチカート（弦を弾いて演奏する）だけで演奏される。オーケストラでは、曲の途中で弦楽器の裏板を手でこすって「シュッ」という音を出したり、コントラバスをクルッと回転させるパフォーマンスがある。軽やかに弾むような軽快感のある曲で、日産の軽自動車「MOCO」のCMに使用されていた。

### 7. ピアソラ：リベルタンゴ

アルゼンチンの作曲家でバンドネオン奏者のアストル・ピアソラによる1974年の代表曲。ピアソラは、従来のタンゴを元に、クラシック、ジャズの要素を融合させた独自の演奏形態を産み出した。元来タンゴは踊りのための伴奏音楽であり、強いリズム性とセンチメンタルなメロディをもつ展開の分かりやすい楽曲であった。ピアソラは、そこにバロックやフーガといったクラシックの構造や、ニューヨークジャズのエッセンスを取り入れることで、強いビートと重厚な音楽構造の上にセンチメンタルなメロディを自由に展開させた。

### 9. 菅野よう子：花は咲く

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の被災地および被災者の物心両面の復興を応援するために制作されたチャリティーソング。作詞は宮城県仙台市出身の岩井俊二が手掛け、作曲・編曲はやはり宮城県仙台市出身の菅野よう子が担当している。作詞の岩井俊二は「この歌は震災で亡くなった方の目線で作りました」と、また作曲・編曲の菅野よう子は「100年経って、なんのために、あるいはどんなきっかけで出来た曲か忘れられて、詠み人知らずで残る曲になるといいなあと願っています」と語っている。

協力：NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは  
若手演奏家を支援し、地域により身近に  
音楽をお届けします！！  
<http://yuzuriha-art.or.jp/> Tel. 070-5652-8878



## 兵庫県立加古川南高等学校 音楽鑑賞会

### 弦楽四重奏の調べ

平成28年3月17日（木）



## プログラム

1. エルガー：愛の挨拶
2. モーツァルト：アイクライネナハトムジークより 第1楽章
3. アンダーソン：プリंकプランクプルンク
4. 久石譲：君をのせて
5. 久石譲：となりのトトロ
6. ディズニー映画アラジンより ホールニューワールド
7. ピアソラ：リベルタンゴ
8. 松任谷由実：春よ来い
9. 菅野よう子 / 花は咲く

## 出演

1st. Violin 久津那 綾香  
2nd. Violin 白石 優香  
Viola 亀山 晴代  
Cello 山内 瑤子





**1st. Violin 久津那 綾香 Ayaka Kutsuna**



兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を卒業。第11回子どものためのヴァイオリンコンクール金賞。第18回熊楠の里音楽コンクール、大学・一般の部第2位。これまでにPhoenix OSAQA2011、2016、草津夏期国際音楽アカデミー、しまなみ音楽祭(旧HIROSHIMA MUSIC FESTIVAL)、ミュンヘン国際音楽セミナー、Summit Music Festival(NY)等国内外の講習会に参加。2014年、ルーマニアにてオラデアフィルハーモニー交響楽団と共演。2016年、恩地孝幸氏主催のNew Year Concert vol.2にて、チャイコフスキー作曲ヴァイオリン協奏曲第1楽章のソリストを務める。これまでにヴァイオリンを岩永美知子、谷本華子、大谷玲子、池川章子、高木和弘、佐藤一紀の各氏に師事。現在、関西を中心に全国で幅広く演奏活動を行っている。演奏グループ赤とんぼ所属。宝塚演奏家連盟会員。<http://s.ameblo.jp/usagittarius>

**2nd. Violin 白石 優香 Yuka Shiraishi**

兵庫県立西宮高校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学卒業演奏会に出演。和歌山音楽コンクール第2位、若き獅子たちのジュニア音楽コンクール入賞、ドブリンペトコフ国際ヴァイオリンコンクール第3位、名古屋アンサンブルフェスタにて特別講師賞受賞。神戸学院大学管弦楽団20周年記念演奏会にてソリストを務める。現在、室内楽やオーケストラ、アーティストのライブ、レコーディングに参加するなど、多方面で演奏活動を行っている。大阪芸術大学演奏要員。これまでにヴァイオリンを松本尚三、稲垣美奈子、故・東儀幸、大谷玲子、中島慎子の各氏に師事。室内楽を中島悦子、豊嶋泰嗣、上村昇、四方恭子の各氏に師事。



**Viola 亀山 晴代 Haruyo Kameyama**



揖保郡太子町出身。3歳よりヴァイオリンを始め、兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部卒業、桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏専攻(修士課程)修了。第3回全日本芸術コンクール第2位、第4回同コンクール第3位、第12回「長江杯」国際音楽コンクール第2位、第19回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選、第3回名古屋アンサンブルフェス

タにて特別講師賞受賞。小澤征爾音楽塾プロジェクト、アトリオン国際室内楽アカデミー、京都フランス音楽アカデミー、Académie internationale de Courchevelなど様々な国内外のセミナーにも参加。ラ・フォル・ジュルネ、JTのアフタヌーンコンサート等に出演。2013年には初のソロリサイタルを開催。兵庫芸術文化センター管弦楽団のアソシエイトプレイヤー、桐朋オーケストラ・アカデミーを経て、現在は室内楽やオーケストラなど多方面で演奏活動を行っている。また自宅教室、桐朋学園大学附属子供のための音楽教室にて後進の指導に当たる。これまでにヴァイオリンを小西匡輔、故 東儀幸、廣岡克隆、梅原ひまり、藤原浜雄の各氏に、ヴィオラを平田泰彦、川本嘉子の各氏に、室内楽を豊嶋泰嗣、上村昇、四方恭子、若林顕、上田晴子、銅銀久弥の各氏に師事。日本シベリウス協会会員。オフィシャルサイト <http://h-kameyama.jimdo.com/>

**Cello 山内 瑤子 Yoko Yamauchi**

13歳よりチェロを始める。兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学でカルテットを結成し、第3回名古屋アンサンブルフェスタにおいて、特別講師賞受賞。豊中市民管弦楽団第51回定期演奏会にてソリストを務める。これまでにチェロを林裕、池村佳子、雨田一孝、上村昇、北口大輔の各氏に師事。現在、関西を中心にソロ、室内楽、オーケストラで活動中。大阪芸術大学オーケストラ要員。



----- # 曲目の紹介 # -----



1. エルガー：愛の挨拶

エルガーが、婚約者であったキャロライン・アリス・ロバーツに送った曲。4分の2拍子、テンポはアンダンティーノ（アンダンテよりやや速く）と指定されている。短い前奏の後でゆったりと優美なテーマが演奏され、テーマが繰り返された後で転調して雰囲気が変わり、ちょっと揺れ動く感じの中間部に入る。やがてテーマが戻り情熱的なクライマックスをつくって、テーマの前半部を繰り返しながら満ち足りた気分で締めくくられる。

2. モーツァルト：アイネクライネナハトムジーク

モーツァルト作品の中でも非常に有名な曲の1つで、セレナード第13番とも呼ばれる。「小さな夜の曲（小夜曲）」と訳されるこの題名は、モーツァルト自身が自作の目録に書き付けたもの。1787年8月10日にウィーンで初演された。娯楽音楽としてのセレナーデの雰囲気を備えており、何らかの機会のために作曲されたと考えられるが、初演に関する資料は残されていない。弦楽合奏、あるいは弦楽四重奏またはコントラバスを加えた弦楽五重奏で演奏され、4つの楽章より成る。第1楽章は、アレグロ ソナタ形式 ト長調 4/4拍子。